

令和5年度 第3回 副業セミナー 開催レポート

○日時 令和5年9月7日（木） 13:30～15:00

○会場 福島テルサ 研修室 つきのわ
オンライン（Zoom）

○参加者 31名（会場5名、オンライン26名）

○ゲスト

- ・ 県内事業者：有限会社 吉川屋 畠 正樹 様
- ・ 副業人材：IT企業勤務 橋本 直樹 様

○内容

福島テルサ 研修室 つきのわにて、「県内事業者向け令和5年度第3回 副業人材活用セミナー」を開催しました。

外部人材を活用したいが正規採用するにはコストがかかる、専門スキルを持つ人材を起用したいが適切な人材からの応募がないなど、悩みを抱える経営者が副業人材をどのように活用できるかを学ぶ内容として実施しました。

はじめに、主催者である福島県からあいさつをさせていただき、その後事務局から福島県副業人材マッチングサイトの説明を行い、昨今の県内での採用・雇用環境や副業人材の動き、令和2年度からのプロジェクト実績についてご紹介させていただきました。

次に、福島県副業人材マッチングサイト利用体験談として、福島市飯坂町にある吉川屋 代表取締役 畠正樹さんにお話を伺いました。

吉川屋は、180年の歴史を持つ老舗旅館として営業を行っています。コロナ禍で、宿泊産業は大きくビジネスモデルを転換せざるを得ませんでした。

団体旅行や地元の宴会・ツアーなどから個人旅行へのシフトや、生産性向上に注力するなど、新しい時代への転換において、どのようにマーケティング・価格戦略を行っていけば良いか、検討を行っていました。

そこで、福島県のマッチングサイトにて募集を行ったところ、実際に複数名から応募があり、面談の中で、福島県在住で大変熱意があり、良い関係構築が望めそうだと感じることでできた方と契約しました。その方が、現在はIT企業勤務で、本副業人材プロジェクトにおいても多数の実績をお持ちの橋本直樹さんでした。

橋本さんは、福島県生まれで、青年会議所に所属するなど、地元・地域に貢献したいという気持ちをお持ちでした。そのため、本副業プロジェクトに応募されたということです。


実際の業務としては市場調査、現状把握、デジタルマーケティング・ブランディング戦略、中期経営計画立案などを行っています。

また、実際に吉川屋に宿泊し、ユーザーの目線でのアドバイスを行うことをはじめ、積極的に現地に足を運んで、伴走支援を行っています。

実際に事業を進めるにあたり、橋本さんは4つのポイントを意識して実行されているとの

ことでした。4つのポイントは、①適切なコミュニケーションと信頼関係の構築②タイムマネジメントとプロジェクト管理③専門性とサービス品質の維持④経営パートナーとしての役割 ということです。それぞれのポイントについて、詳細にお伺いすることができました。

また、島社長にも、副業を受け入れる企業側のメリットをお話いただきました。副業者としての経営的なアドバイスのみならず、経営者の孤独に寄り添い、相談役としての役割も担っているとのことでした。



4つのポイント

ポイント	詳細
適切なコミュニケーションと信頼関係の構築	クライアントとの明確なコミュニケーションを保ち、期待値をしっかりと合わせる必要があります。現地を訪問してミーティングを実施することで信頼関係を深めます。
タイムマネジメントとプロジェクト管理	副業での作業時間は限られているため、効率的なタイムマネジメントとプロジェクトの進捗状況の管理が必要です。
専門性とサービス品質の維持	限られた時間内で高い価値を提供するためには、専門性とスキルが求められます。サービスの品質を維持することが最も重要です。
経営パートナーとしての役割	日常のオペレーションではなく、経営について話せるパートナーとなることで、より高い付加価値を提供できます。

最後に、オンライン講話として、ランサーズ株式会社 インキュベーション推進室 マネジャー 篠原 智美さんから「副業人材活用で地域ビジネスの未来を拓く！」～柔軟な人材戦略の構築と活用法～ をテーマにお話いただきました。

篠原さんは、群馬県出身で、フリーランサーをつなぐIT企業「ランサーズ」社員でありパラレルワーカーであります。様々な自治体と連携したワーケーションや多様な働き方に関する事業企画、地域共創プロジェクトの立ち上げ伴走支援などの取組を行っている方です。

今回は副業者として応募されてきた方、また、受入を行う事業者向けに、小規模企業での副業人材活用事例等を用いながら、複業人材活用の魅力や活用方法などについてお話いただきました。

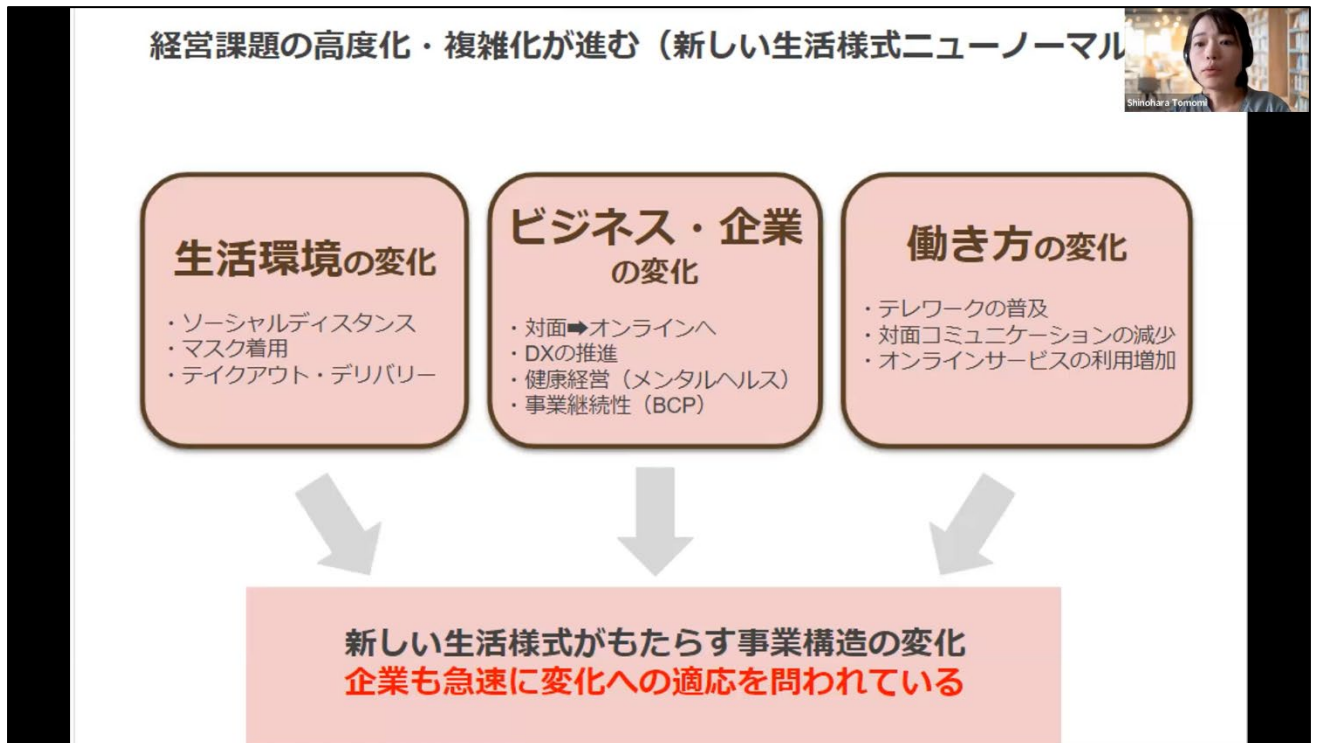
講話では、「新しい働き方」の中の「副業人材としての働き方」について、社会情勢の背景などを基に、ニーズの状況をお話いただきました。

企業を取り巻く環境の変化は著しく、正社員を登用することが難しい企業が増えてきており、積極的に副業人材などの外部人材を活用することで、課題を解決することができるのお話がありました。

さらに、小規模企業での副業人材活用の事例では、社内広報誌の作成を副業人材に委託することで既存若手社員の残業時間を200時間から0時間にすることにより、企業・従業員

の幸福度が大幅に上がった、とのお話など、様々な事例をご紹介いただきました。

実際にどんなことを副業人材に任せることが可能か、と迷っている事業者にとっても、外部人材活用の事例を知る事により、活用の幅が広がることとなり、大変参考になりました。



終了後の参加者アンケートでは、

「今後の労働市場の動向、パラレルキャリア、多様な個人を受け入れる働き方について参考になった」「変化の多い時代に対応する、パラレルキャリアの人材の必要性を感じた」などの感想をいただきました。

セミナーにご参加いただいた皆さんは、マッチングサイト利用者の体験談に熱心に耳を傾けており、副業に対する関心の高さがうかがえました。

以上